

令和4年産麦作情報（第3号）

1. 気象の概要（1月21日～2月5日までの気象）

- ◆平均気温…平年と比較して、1.1℃高く推移している。
- ◆降水量は…平年と比較して多く推移している。（平年比 122%）
- ◆日照時間…平年並みで推移している。（平年比 101%）

2. 管内麦類の生育状況

▼農試情報田の調査結果

（令和4年2月10日調査）

| 品種 | 播種期 (月/日) | 年次 | 草丈 (cm) | 茎数 (本/m ²) | 葉齢 (L) | 葉色 (SPAD) | 概況 (平年・平均と比較して) |
|---------|--------------|------|------------|---------------------------|-----------|--------------|--|
| シロガネコムギ | 11/19 | 本年 | 19.4 | 636 | 5.8 | 51.0 | [気象] 1月20日～2月9日まで ◆平均気温…平年より0.8℃高い ◆日照時間…平年並み（平年比101%） ◆降水量……少ない（平年比93%） [生育] ◆草丈 全品種・全作期とも低い。 ◆茎数 小麦および12月10日播種の大麦で少ない。12月1日播種の大麦は多い。 ◆葉齢 11月19日播種「シロガネコムギ」でやや遅れている。12月9日播種「シロガネコムギ」および12月10日播種の大麦で遅れている。12月1日播種「サチホゴールド」はやや早く、12月10日播種「はるか二条」は平年並み。 ◆生育ステージ（次頁参照） |
| | | 平年 | 20.9 | 693 | 6.1 | 41.4 | |
| | 平年差(比) | 93 | 92 | -0.3 | +9.6 | | |
| | 12/9 | 本年 | 10.3 | 384 | 3.9 | 53.2 | |
| 平年 | | 12.8 | 436 | 4.4 | 44.0 | | |
| 平年差(比) | 80 | 88 | -0.5 | +9.2 | | | |
| サチホゴールド | 12/1 | 本年 | 11.2 | 940 | 5.2 | 45.5 | |
| | | 前年 | 15.1 | 600 | 5.1 | 41.6 | |
| | 前年比(差) | 74 | 157 | +0.1 | +3.9 | | |
| | 12/10 | 本年 | 9.9 | 492 | 4.1 | 43.1 | |
| 平年 | | 12.9 | 546 | 4.4 | 43.1 | | |
| 平年差(比) | 77 | 90 | -0.3 | 0 | | | |
| はるか二条 | 12/1 | 本年 | 10.3 | 908 | 4.8 | 53.0 | |
| | | 前年 | 14.1 | 632 | 4.8 | 46.0 | |
| | 前年差(比) | 73 | 144 | 0 | +7.0 | | |
| | 12/10 | 本年 | 9.8 | 439 | 3.7 | 49.6 | |
| 平均 | | 13.5 | 536 | 4.1 | 45.2 | | |
| 平年差(比) | 73 | 82 | -0.4 | +4.4 | | | |

| 品種 | 播種期 (月/日) | 年次 | 幼穂形成始期 (月/日) | 節間伸長開始期 (月/日) | 莖立期 (月/日) | 出穂期 (月/日) |
|--------------|--------------|----|-----------------|------------------|--------------|--------------|
| シロガネコムギ | 11/20 | 本年 | 2/2 | 未 | 未 | 未 |
| | | 前年 | 2/3 | 2/16 | 2/17 | 3/26 |
| | | 平年 | 2/4 | 2/17 | - | 4/1 |
| | 12/10 | 本年 | 未 | 未 | 未 | 未 |
| | | 前年 | 2/22 | 3/4 | 3/8 | 4/1 |
| | | 平年 | 2/23 | 3/6 | - | 4/9 |
| ゴールデン サチホ | 12/1 | 本年 | 2/7 | 未 | 未 | 未 |
| | | 前年 | 2/8 | 2/23 | 3/2 | 3/28 |
| | 12/10 | 本年 | 未 | 未 | 未 | 未 |
| | | 前年 | 2/14 | 3/2 | 3/4 | 4/1 |
| | | 平年 | 2/11 | 3/2 | - | 4/3 |
| はるか 二条 | 12/1 | 本年 | 2/7 | 未 | 未 | 未 |
| | | 前年 | 2/8 | 2/20 | 2/26 | 3/28 |
| | 12/10 | 本年 | 未 | 未 | 未 | 未 |
| | | 前年 | 2/12 | 2/25 | 2/27 | 3/31 |
| | | 平年 | 2/11 | 2/27 | - | 4/1 |

▼三神管内の調査結果

| 調査日 | 場所 | 品種名 | | 播種日 | 苗立ち数 (本/m ²) | 草丈 (cm) | 莖数 (本/m ²) | 主稈 葉数 (L) | 備考 |
|-------|--------------------|-------------|-----------|--------|-----------------------------|------------|---------------------------|-----------------|---|
| 1月17日 | 管内現地 (千代田) | シロガネ コムギ | 本年 | 11月15日 | 154 | 14.1 | 583 | 5.6 | ・ 平年より播種期が早い。 ・ 生育は平年より進んでいる。 ・ |
| | | | H24~29平均 | 11月29日 | 146 | 12.2 | 375 | 4.4 | |
| | | | 6か年比% (差) | (-14) | 106 | 116 | 155 | (+1.2) | |
| 1月17日 | 管内現地 (吉野ヶ 里) | はる風ふ わり | 本年 | 11月18日 | 101 | 14.2 | 557 | 6.1 | ・ 草丈は前年よりも低い。 ※ 平年と比べて莖数/m ² は少ないが 莖数/株あたりは本年が多い |
| | | | 前年 | 11月19日 | 136 | 23.5 | 610 | - | |
| | | | 前年比% (差) | (-1) | 74 | 60 | 91※ | - | |
| 1月18日 | 管内現地 (鳥栖) | はるか二 条 | 本年 | 11月20日 | 112 | 14.1 | 313 | 5.4 | 2か年 (R1~R2) と比べて、草 丈は低く、莖数は少ない。 |
| | | | R2-3平均 | 11月23日 | 105 | 17.1 | 546 | 5.5 | |
| | | | 2か年比% (差) | (-3) | 107 | 82 | 57 | (-0.1) | |

【概況】

- ・ 11月20日前後の播種の小麦は現在、5~6葉期となっており、幼穂形成期~節間伸長期となっている（主茎の幼穂長2mm程度、節間長5mm程度）。生育は、前年と比較して緩やかに進んでいるが生育が早く進んでいる圃場もあるため、莖立ち期（節間長2cm・草丈約25cm程度）を迎えている圃場では、麦踏み止め、土入れを中心とした管理を行う。
- ・ 11月中下旬播種の大麦は現在、4~6葉期となっており、11月中旬播種の圃場では幼穂形成期~節間伸長期となっている（主茎の幼穂長2mm程度、節間長5mm程度）。11月中に播種した圃場では、生育が旺盛な傾向であるが、播種が遅れた圃場や一部出芽が悪かった圃場では、生育が緩やかに進んでいる。

3. 今後の管理

◆穂肥

- 本年の生育は平年並みに推移していることから、暦に準じて2月下旬～3月上旬頃に施用を行う。ただし、生育が進んでいる圃場で麦踏みローラとともに施用を行う場合は、施用が遅れないように茎立ち期までには実施する。
- ビール大麦については、品質基準（粗タンパク質：10～11.0%）を満たすため、下記表を参考に穂肥を施用する。

▼サチホゴールドの穂肥診断基準

| 葉色 (SPAD) | 穂肥 kg/10a | | | |
|--------------|-----------|-------|-------|-------|
| | BB602 の場合 | | 硫安の場合 | |
| | 水稻跡 | 大豆跡 | 水稻跡 | 大豆跡 |
| 45 以下 | 15 | 10 | 11 | 7 |
| 46 以上 | 10 | 施用しない | 8 | 施用しない |

- 肥効を高めるため、穂肥後に土入れを行うとより効果的である。
- 散粒機や動散等で全面散布を行う場合は、施肥量を基準より1～2割増やす。

◆麦踏み（3葉期以降）

- 麦踏みは、土壌が乾燥した状態で行う。
※土壌水分が高い時に行うと土が締まり、湿害を助長するとともに排水性が悪くなる。

【麦踏みの効果】

①耐寒性向上 ②根量増加 ③短稈多分げつ型への誘導 ④早立ち防止で凍霜害回避

- 麦踏みの晩限は、茎立ち期（節間長2cm・草丈約25cm程度）前までである。
※茎立ち期以降の麦踏みは、初期分げつが折れ、穂数の減少や倒伏抵抗性が低下するため実施しない。

◆土入れ（5葉期以降）

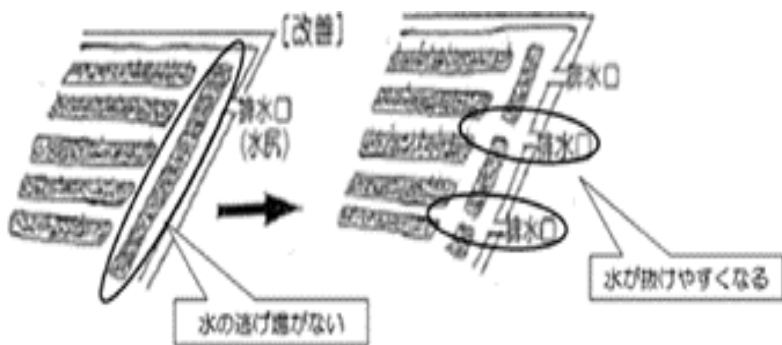
- 土入れは、土壌が乾燥した状態で行う。
※土が湿り、土塊が大きい場合は麦が埋まり土から出てこなくなる。
- 雑草防除と排水対策もかねて、圃場の条件をみながら計画的に土入れを実施する。
- 分げつ初期に土入れが多いと、分げつを抑制することがあることから、土入れの量は、基本的に生育初期は少なめに、生育が進むにつれて量を増していく。
- 生育が遅い圃場では、生育が進んでから実施する。
- 播種量が多く苗立ち数が多い圃場では、例年より土入れを1～2回増やして過剰分げつを抑制する。※過剰分げつは、細莖化を招き倒伏に弱くなる。

【土入れの効果】

①防寒 ②保肥力増大 ③倒伏防止 ④無効分げつ制御 ⑤雑草防除 ⑥排水促進

◆排水対策

- 本年は、現在まで降雨量が少なく推移しているが、近年局所的な雨が増えていることから、今後の降雨に備え、土入れに加え、まくら地の排水溝を整備し、圃場内の水を早く排水できるように整えておく。
- 特に、トラクターカルチで土入れを実施する場合には、排水不良（うね溝の停滞水が多くなる）となりやすいので、うね溝と排水口とをつなぐように徹底する。



◆鳥獣害対策

1) カモによる食害

- ・川沿い(筑後川、クリーク等)の麦においてカモによる食害が毎年確認されており、本年も被害圃場が散見される。
- ・被害が小さい場合、補償作用により減収も限定的だが、時期が遅く被害が大きい場合は、減収につながる恐れがある。

(症状)

- ・麦の地際部まで草刈り機で払ったように葉が切れている。
- ・周辺に鳥の糞が落ちている。



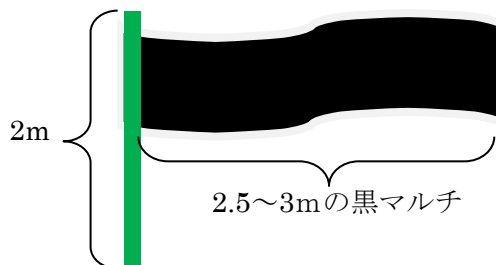
▲【カモによる食害痕】



▲【カモによる食害圃場】

(対策)

- ・カモ害の対策として、「のぼり」や「テグス」などの方法がある。「のぼり」は、マルチ支柱の高さが短かかったり、10aあたりの「のぼり」の本数が少なすぎると効果が低減する。
- ・水路寄りの部分を中心に設置すると効果的である。
- ・2.5~3mの黒色のマルチを2mの支柱につるした「のぼり」を10aあたり5本均等に設置する。
(費用は、「のぼり」1本あたり約420円)



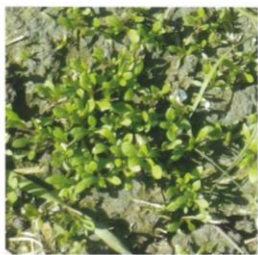
◆雑草対策

- ・今後、雑草の発生が目立つ圃場では生育期処理剤(莖葉散布)の散布を検討。(下記表参照)
- ・【注意】

麦踏み：麦踏み前後の除草剤散布は薬害を助長するため避ける。

土入れ：土入れを除草剤散布後に行うと、雑草の蒸散作用が抑制され有効成分の根部吸収が妨げられるので控える(特にステージの進んだ雑草の場合は十分に間隔をあける。)

～麦圃場でよくみられる雑草（広葉）～



ミノフスマ



ミチヤナギ



ヤエムグラ

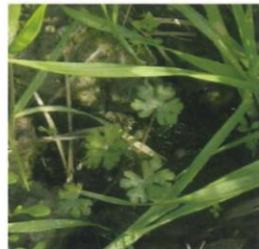


スズメノテッポウ カズノコグサ

赤褐色 白色



トゲミノキツネノボタン



アメリカフウロウ



タデ類（イヌタデ）

カズノ生育当初は、両雑草とも根の色が白色だが、生育が進むとカズノコグサの根は「白色」で、スズメノテッポウの根は「赤褐色」となるため判別可能。

▼生育期除草剤使用例

| 農薬名 | 有効な雑草 | 使用量 | 希釈水量 | 使用時期 | 総使用回数 |
|--|---|---------------|-------------|--|-------|
| | | 10a 当たり | | | |
| バサグラン液剤 | 一年生雑草 (イネ科を除く) | 100～ 200ml | 70～ 100L | 雑草 3～6 葉期 小麦：収穫 45 日前まで 大麦：収穫 90 日前まで | 1 回 |
| アクチノール乳剤 | 一年生広葉 ・カラスノエンドウ ・ヤエムグラ ・タデ類 | 100～ 200ml | 70～ 100L | 雑草生育初期、 麦穂ばらみ期まで | 2 回 |
| ハーモニー 75DF 水和剤 | イネ科雑草 ・スズメノテッポウ ・カズノコグサ 広葉雑草 ・ミチヤナギ ・タデ類 ・キツネノボタン ・ヤエムグラ ・ナズナ ・ハコベ | 5～ 10g | 100L | 麦 1 葉期～節間伸長前 スズメノテッポウ：5 葉期まで カズノコグサ：1～3 葉期まで | 1 回 |
| <p>ハーモニー75DF 水和剤使用上の注意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種後にハーモニー細粒剤 F を散布した圃場は使用不可 ・薬害が生じ易いので周辺作物に注意 ・使用器具の洗浄をよくし、他作物との併用はしない ・スズメノテッポウ、カズノコグサには効果が弱い（抑制するが枯死しない） | | | | | |

抵抗性をもつ場合は効果が劣る場合がある。連用施用には注意する。

多発田では時期を逃さないように注意！

R4年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

三神農業改良普及センター

